

5 学年

実践例

新聞の編集のしかたや 記事の書き方に目を向けよう

学習計画表 (全4時間)

1. 新聞って?(1時間)

- 新聞には何が書かれているのかな?
- それぞれの面の記事や編集のしかたや書き方に注目してみよう

2. 新聞記事を読み比べよう (2時間)

- 教科書の二つの記事を読み比べよう
- ほかの記事も読み比べよう

3. 興味をもった記事を見つけよう (1時間)

- 自分が興味をもった記事を選び, 感想を書こう
- 友だちの選んだ記事を読み感想を伝えよう

新聞を読み、興味をもった記事集めをしよう。



第5学年 国語科学習指導案

1. 単元名「新聞の編集のしかたや記事の書き方に目を向けて新聞を読もう」
教材名「新聞を読もう」(光村図書 五)

2. 本単元で付けたい力

- 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。 【C(1)イ】
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること。 【C(1)ウ】
- 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。 【伝国(1)イ(キ)】

3. 言語活動例

| | |
|--------------------------|-------|
| 編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと | C(2)ウ |
|--------------------------|-------|

4. 単元について

| 単元観 |
|--|
| <p>○本単元では、単元を貫く言語活動として「新聞の編集のしかたや記事の書き方に目を向けて新聞を読む」活動を位置付けた。新聞は、読者に伝わりやすいように、見出しやリード文、写真・図表などが工夫され、記事も「逆三角形」といわれる構成で構成されている。ゆえに、見出しでざっと読む、関心のある部分だけを読む、関連記事を読む、論説や投書などを比べて読むなど、多様な読み方ができる。また、見出しやリード文を活用することで、出来事の概要や論説の要旨などをすばやく把握することができる。そうした新聞の特性を生かして、目的に応じて効果的な読み方を工夫することや、文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えたり、事実と感想・意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすることに適していると考え。</p> <p>○本教材は、まず、見出しやリード文、写真・図表などが工夫され、紙面全体の構成、編集の仕方、新聞用語や構成を知るのに適した記事が取り上げられている。次に、同じ出来事について書かれた記事を読み比べることで、両者の違いやその意図の違いなどを考えさせることができる。</p> |
| 児童観 |
| 省略 |
| 指導観 |
| <p>○第1次では、まず、新聞を持ち寄り、教科書の観点を参考に、新聞の基本的な新聞の編集のしかたや記事の書き方、いろいろな面があることなどを、実際の新聞で確かめさせていく。新聞の用語を知り、新聞記事のもつ構成「逆三角形の構成」に気付かせていく。</p> <p>○第2次では、教科書の「金環日食」を取材した二つの新聞記事を読み比べ、編集の仕方の共通点や相違点を確かめたり同じ出来事に関する記事を比べたりすることで、ものの捉え方には違いがあることを確かめさせていく。さらに、そこには、発信者の意図が反映されていることにも気づかせていく。そして、プラスワン教材を使って写真や見出し、リード文の効果や、本文とのつながりも学ばせていきたい。</p> <p>○第3次では、第2次までに学んだことを生かして興味をもった新聞記事を選ばせ、自分の意見や感想を書き、友だちと交流するなかで他の人の感じ方や自分が気付かなかった良さ、おもしろさに気付いていけるようにしたい。そして、本単元を通して、新聞を読むことが楽しく、たくさんの情報が掲載されていることを実感させたい。さらに、この学習をきっかけに新聞により興味・関心がもてるようにしていきたい。</p> |

5. 単元構想（単元計画と評価）

単元を貫く言語活動 新聞の編集のしかたや記事の書き方に目を向けて新聞を読む

単元の目標

- 複数の記事を読み比べて、発信者の意図の違いで内容や表現が違うことを理解することができる。
- 見出しや写真の工夫などによる効果を理解しながら読むことができる。

単元の評価規準

| 国語への関心・意欲・態度 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
|--------------------------------------|---|--|
| ・新聞に興味をもち、新聞の面や記事の構成を確認しながら読もうとしている。 | ・複数の記事を読み比べて、発信者の意図の違いで内容や表現が違うことを理解している。 【C(1)イ】 ・見出しや写真の工夫などによる効果を理解しながら読んでいる。 【C(1)ウ】 | ・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解し、新聞記事のもつ構成に気付いている。 【伝国(1)イ(キ)】 |

指導と評価の計画（全4時間） 〈蓮池版習得・活用型授業Bパターン〉

| | | 学習内容 | 評価 | | | | |
|---------|-----------|--|----|---|---|--|-------------------|
| | | | 関 | 読 | 言 | 評価規準 | 評価方法 |
| 第一 次 | 1 | ○学習の見通しをもつ。 ○いろいろな新聞を見比べ、新聞の特徴や編集の仕方、記事の書き方などを知る。 | ◎ | | ○ | ・新聞に興味をもち、新聞の面や記事の構成を確認しながら読もうとしている。 ・文章の構成の一つとして、新聞記事のもつ構成に気付いている。 | 発言 行動観察 ノート |
| 第二 次 | 2 展開例Ⅰ | ○教科書教材「金環日食」について書かれた記事を読み比べる。 | | ◎ | | ・発信者の意図によって、内容や表現に違いがあることを理解している。 | 発言 ノート |
| | 3 展開例Ⅱ | ○プラスワン教材「多摩川のアユ」について書かれた記事を読み比べる。 | | ◎ | | ・見出しや写真の工夫などによる効果を理解し、発信者の意図と結びつけて考えている。 | 発言 ノート |
| 第三 次 | 4 | ○興味をもった記事を見つけ、意見や感想を書き、友だちと交流する。 | ◎ | | ○ | ・意見や感想を交流する活動を通して、新聞を読むことの意欲を高めている。 ・見出しや写真に注目して、読みたい記事を選んで読み、記事の内容に自分なりの思いや考えを書いている。 | 新聞 ノート 発言 |

学習を支える指導

- ペア学習をすることで、友だちの意見を聞き自分の考えを深めさせる。 （学習集団育成の視点）
- 根拠を明確にして自分の考えを伝えさせる。 （表現力育成の視点）

6. 展開例 I の指導 (2/4)

(1) 目標

○発信者の意図によって、内容や表現に違いがあることを理解することができる。

(2) 評価規準

B 概ね満足できる状況

◆発信者の意図によって、内容や表現に違いがあることを理解している。

A 十分満足できる状況

◇発信者の意図によって、内容や表現に違いがあることを理解し、自分の考えを話すことができる。

(3) 本時における研究主題の追究

本時における思考力・判断力・表現力

同じ出来事について書かれた新聞記事を読み比べ、発信者によって書かれ方が違うわけについて考える力

【思考を深めさせる工夫】

○同じ出来事を伝えているのに「全国紙」と「京都で発行されている新聞」では、どうして見出しや写真に違いがあるのかを考えさせる。

《軸となる本時の言語活動》

見出しや写真によって受けとる印象がどのように違うか考える

【個別支援の工夫】

○記事のどこに着目すればよいか分からない児童には「数字」や「場所」など比べる観点を示す。

(4) 展開

| | 学習活動 | ○主な発問や指示・児童の姿 | ◎支援◆評価（評価方法） |
|--|--|--|--|
| つかむ (5分) | 1 本時の課題をつかむ | ○今日は同じ出来事について書かれた二つの記事を読み比べましょう。 | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>本時の課題 同じ出来事について書かれた記事を読み比べよう</p> </div> | | | |
| 考える (10分)・学び合う (20分) | 2 二つの記事を読む 3 それぞれの記事の印象について考える (1) 個人思考 (2) ペア (3) 全体 4 なぜ違いがあるのかを考える | ○二つの記事のどこが違うか考えながら読みましょう。 ・「932年」「282年」で数字が違う。 ・東京銀座で撮影した写真と京都市で撮影された写真が使われている。 ○写真や見出しが違うとそれぞれどんな印象を受けますか。 ・全国紙の方は図があって分かりやすい。 ・京都の新聞は見出しから美しさが伝わってくる。 ○同じ出来事を伝えているのに、どうして見出しや写真に違いがあるのでしょうか。 ・京都の新聞は京都らしい写真を選んで載せている。 ・「全国紙」は全国で読まれることを意識していて、「京都で発行されている新聞」は京都やその周辺で読まれることを意識している。 ・見出しを比べると、「列島興奮」からは見た人の様子、「神秘のリング魅了」からは金環日食の美しさが伝わってくる。 | ◎記事のどこに着目すればよいか分からない児童には「数字」や「場所」など比べる観点を示す。 ◎どこでそう思ったのか根拠をもたせる。 ◎書かれ方が違うと同じ出来事でも読むときに受ける印象が変わることに気付かせる。 ◎表現の違いが、記事の読み手を意識していることにつながっていることを確かめさせる。 ◆発信者の意図によって、内容や表現に違いがあることを理解している。 (発言・ノート) |
| まとめる (10分) | 4 今日の学習のまとめをする | ○今日の学習で気付いたことや分かったことはなんですか？ | |

【板書】



282年ぶり 京都で金環日食

神秘のリング魅了

ちがいがい

- ・数字
- ・写真
- ・見出し
- ・場所



金環日食 列島興奮 932年ぶり広域観測

全国紙

印象

- 全・くわしい
- ・よくわかる
- 地・きれい
- ・リング

新聞を読もう

金環日食

同じ出来事について書かれた記事を読み比べよう。

京都で発行されている新聞 ↓ 地方紙

【資料】

① 単元導入時の活動

○高知新聞、毎日新聞、読売新聞、朝日新聞、産経新聞を配布し、共通点を見つける読み比べをする。



どの新聞にも、TV欄や天気予報がある！
 ぼくは、スポーツのところから読むけど、この新聞にはあるのかな？

どの新聞にも、文ばかりでなく、
 図や写真があるね。
 大きな字と小さな字でまとめられているよ。
 広告や宣伝のところもあるね。



○いろいろな新聞を見比べたり、教科書教材を使ったりして新聞の「逆三角形の構成」や用語、仕組みをとらえさせる。また、報道記事では、取り上げる出来事について、5W1Hで書かれてあることをおさえる。

② 教科書教材を使って読み比べる活動

でも、見出しが少しちがう？
数字もちがうね。なんで、同じ金
環日食のことなのにちがうのだろ
うね。



両方とも見出し、リード文、
本文、写真があるね。
両方、月の写真だね。金環日
食のことだね。

○同じ内容を取り上げた記事なのに、全国紙と地方紙との書き方のちがいを考えさせる。そして、発信者の意図や読み手が受け取る印象についても考えさせる。

全国紙の方は写真や図があ
ってくわしく分かる。
地方紙の方は、見出しに「神
秘のリング」と書いてあるか
ら、何のことだろうと興味を
もつ事ができた。全国紙の方
は、金環日食のめずらしいこ
とを全国の人にわかるように
伝えている。



○児童のふりかえり

- ・同じ記事でも、読む人によってとらえ方がちがうことに気づきました。
- ・新聞には、発信者の伝えたいことがよりわかりやすく伝わるための工夫があることがわかりました。
- ・最初、全国紙も地方紙も同じ話題の新聞なので、内容は同じだと思っていたけど、読む対象者によって発信者の伝え方が違うことがわかりました。

6. 展開例Ⅱの指導（3/4）

（1）目標

○見出しや写真の工夫などによる効果を理解し，発信者の意図と結びつけて考えることができる。

（2）評価規準

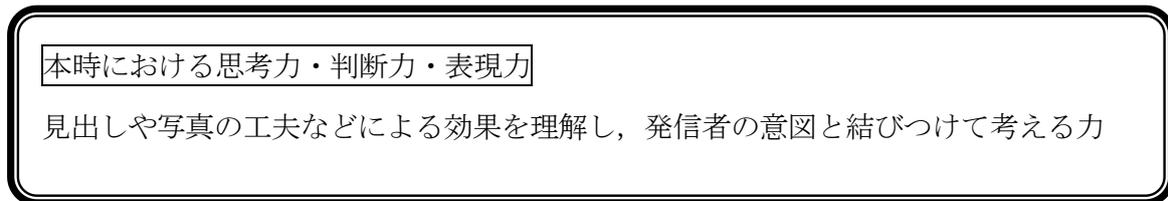
B 概ね満足できる状況

◆見出しや写真の工夫などによる効果を理解し，発信者の意図と結びつけて考えている。

A 十分満足できる状況

◇見出しや写真の工夫などによる効果を理解し，発信者の意図と結びつけて考え，なぜそう考えたのか根拠を明確にして話すことができている。

（3）本時における研究主題の追究



【思考を深めさせる工夫】

○二つの記事の写真と本文を渡して考えさせる。そして，つながりを考えさせ，その発表できるよう根拠を明確にして記事に赤線を引かせる。

《軸となる本時の言語活動》

それぞれの写真，本文，見出し，リード文の関係を考える

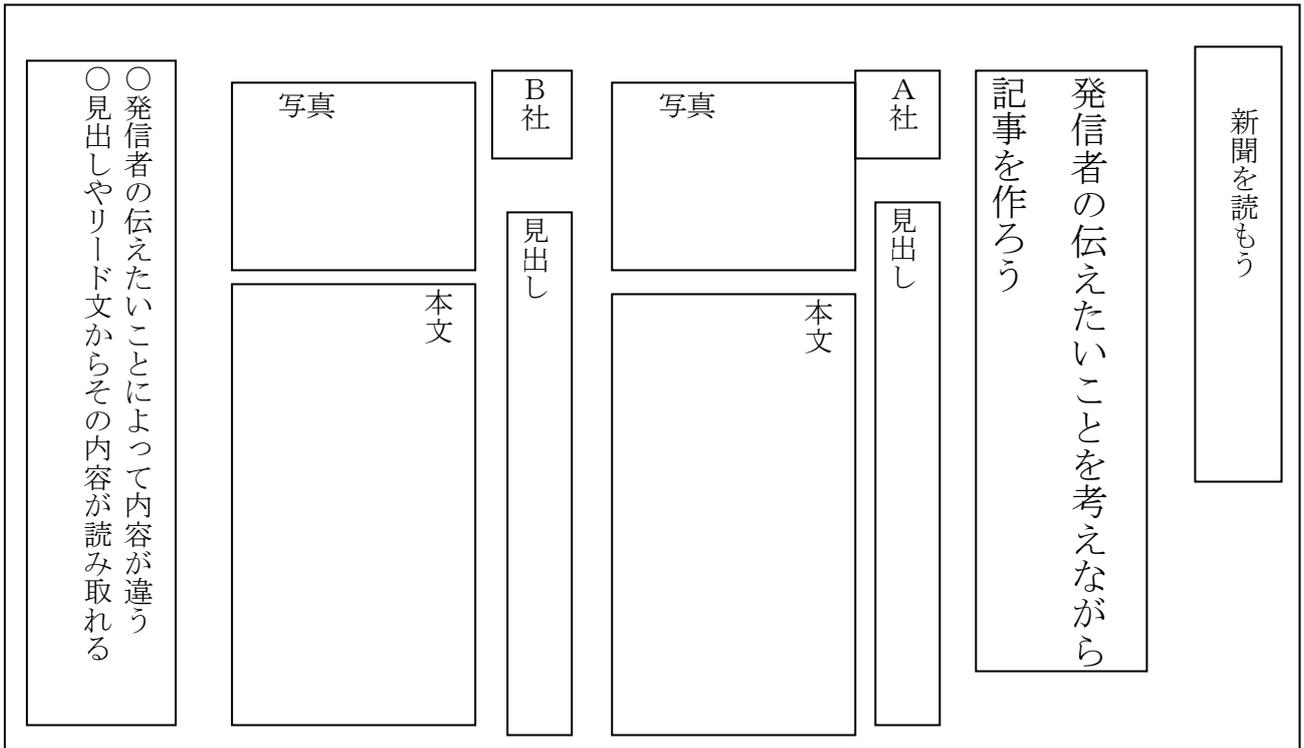
【個別支援の工夫】

○二つの記事の写真と本文を渡して考えさせる。そして，つながりを考える。

(4) 展開

| | 学習活動 | ○主な発問や指示・児童の姿 | ◎支援◆評価（評価方法） |
|--|--|---|--|
| つかむ (10分) | 1 前時までの学習を思い起こし、本時のめあてをつかむ | | ◎前時までの学習の内容を想起させる。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>本時の課題</p> <p>発信者の伝えたいことを考えながら記事を作ろう</p> </div> | | | |
| 考える (10分)・学び合う (20分) | 2 写真と本文、リード文の組み合わせを考える (1) 個人思考 (2) 全体交流 3 見出しについて考える | ○写真からどのようなことが想像できますか？ ・魚が泳いでいるから魚のこと ・水遊び ・生き物を採っている ○本文、リード文は、どちらの写真のものか考えよう。 ○自分の考えた組み合わせを根拠を明確にして説明しましょう。 A社 ・「しぶきを上げて水面の上にはね上がる」とあるから B社 ・「土手を散策する人々のすがたも多い」「多摩川の自然に親しむ」とあるから ○見出しは、どちらの記事のものか考えよう。 ・A社は、初夏に多摩川に若い江戸前アユがたくさん釣ったことを伝えたいから。 ・B社は、多摩川にアユが戻ってきたことで多摩川の自然がもどってきたことを伝えたいから。 | ◎本文に何が書かれていて、何を伝えたい文なのか発信者の意図を考えさせる。 ◎二つの記事の写真と本文、リード文を渡して考えさせる。根拠となるところに赤線を引かせる。 ◆見出しや写真の工夫などによる効果を理解し、発信者の意図と結びつけて考えている。 (発言・ノート) |
| まとめる (5分) | 4 学習の振り返りをする | ○新聞について学習をしてどんな感想をもちましたか。 ・新聞記事は発信者の意図によって内容が違うこと、そして、見出しやリード文からその内容が読みとれることがわかりました。 | |

【板書】



【資料】

① 記事を作ろう

〔児童のノート〕

○写真からわかることを想起させ、バラバラにした見出し、小見出し、リード文、本文を渡し、組み合わせ二つの記事をつくる。

○記事をつくるなかで、見出し、小見出し、リード文、写真、キャプションのつながりを考え根拠を明確にしながら発表させる

両方の写真はアユのことがのっているから、見出しは両方つかえるよ。



本文のこの文は、この写真のことじゃないかな。
 発信者の伝えたいことは、写真や本文から○○だと思うから、見出しは じゃないかな！

【資料】

② 『新聞ノート』づくり

○単元学習時より、新聞を読ませるために継続して取り組む。



④友だちの新聞ノートの意見を読んで、それに対して感想を書き込み青で囲む。

① 自分の気になる記事を選ぶ。
 (ノート1ページにつき1記事)
 ② 中心となる文や記者の伝えたいこと、気になる文に赤線を引く。
 ③ 記事に対して自分の考えを書く。

新聞を読ませるための環境作り
新聞コーナー
 各家庭でいらなくなった新聞を提供してもらって部数を確保する。



新聞ノートの書き方 part 2

- ①気になる記事を選ぼう。
- ②記事の中から、5W1H
 いつ(When)どこで(Where)だれが(Who)
 なにを(What)なぜ(Why)どのように(How)
 を見つけて青で線をひこう。※ない時もあるよ※
- ③書き手の主張や心に残った言葉、文章に赤線をひこう。
- ④ノートに書こう。
 1、記事の内容や書き手の伝えたいことをまとめて書く
 2、自分の考え(感想・意見)を書く

○友達の新聞ノートは自由に閲覧することができるように新聞コーナーに置いている。